

みなみしまばらし 議会だより

No.61

令和3年
7月30日発行

主な 内容

- 令和3年度一般会計補正予算 …… P2～P3
- 一般質問に12人が登壇 …… P4～P9
- 委員会活動 …… P10～P13
- その他 …… P14～P16

令和3年度一般会計補正予算(第2号)



補正予算の総額 **3,056万8千円** 増額

子育て世帯生活支援特別給付金の支給に要する経費

子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業

3,140万5千円

〈対象者数〉	598人
〈支援額〉	児童一人当たり一律5万円
〈費用負担〉	全額国庫負担(10/10)
〈事業費内訳〉	支援金 2,990万円
	時間外勤務手当(財源組替) 83万7千円
	システム改修費 39万6千円
	郵便料 15万5千円
	口座振替手数料 4万6千円
	消耗品費 7万1千円



令和3年度一般会計補正予算(第3号)



補正額 **2億3,347万2千円** 増額

総額 **303億981万2千円**

主な計上事業

【新型コロナウイルス感染症に伴う補正予算】

1 《新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金》

- ①加津佐総合福祉センター空調改修工事:7,249万4千円
- ②原城オアシスセンター空調改修工事:3,629万2千円



加津佐総合福祉センター



原城オアシスセンター

2 《新型コロナ感染症防止支援：マスク購入等支援、ICT化推進事業等》

- ①放課後児童クラブ事業：1,660万円
- ②保育所運営・活動支援事業：1,880万円
- ③子育て支援センター機能強化事業：1,200万円
- ④公立こども園運営事業：50万円



3 《児童手当支給事業：住民税均等割が非課税である者 児童1人あたり一律5万円》

- ①子育て世帯生活支援特別給付金：4,746万3千円

【その他の補正予算】

1 《農林水産関係の予算》

- ①長崎県農業水利施設ストックマネジメント事業：640万円
- ②水産関係施設整備事業：160万円

2 《教育関係の予算》

- ①布津小学校消防設備改修工事：765万4千円



布津小学校消防設備（消火栓ポンプ）

令和3年度一般会計補正予算(第4号)



補正予算の総額 **565万円** 増額

これを現計予算と合算すると

一般会計 **303億1,546万2千円** となります。

新型コロナウイルス感染症生活困窮者 自立支援金支給事業

565万円

- 〈給額（月額）〉 単身世帯 6万円
- 2人世帯 8万円
- 3人以上世帯 10万円
- 〈支給期間〉 7月以降の申請月から3か月（申請受付は8月末まで）
- 〈費用負担〉 全額国庫負担（10/10）
- 〈事業費内訳〉 支援金 558万円
- 消耗品費（事務費） 7万円



高齢者ワクチン予約が大変混雑した原因は

年代別の配慮が足りなかった、大変申し訳ない。

市長



黒岩 英雄 議員

自転車道について

議員 島鉄跡地利用の自転車歩行者道路整備事業の財源確保を聞きたい。

市長 地方創生道整備交付金事業の道整備交付金を主な財源として、さらに過疎事業債を活用していく。

議員 自転車道の整備事業費と各工区の事業内容を伺いたい。

市長 現時点で見込んでいる整備事業費は、第1期地区10億9千万円、第2期地区11億1千万円、第3期地区10億円、合計

32億円である。議員 今事業が進められている第1期地区の供用開始の予定を聞きたい。

市長 第1期地区（加津佐・南有馬間）は順次工事を発注し、早期完成を図り、市道との連絡が整備できた区間から供用を開始し、市民皆様に利用していただく。

議員 みずなし橋より島原外港までの区間も同時進行すべきと思うが、島原市との調整は進んでいるのか。

市長 県サイクルツーリズム推進協議会で、半島3市ほか関係機関の地域部会で整備推進をするこ

とになっている。

議員 今回の高齢者ワクチン接種予約方法に対して批判が多かったが、何が原因だったのか。

福祉保健部長 この度の高齢者ワクチン接種予約については、限られた予約枠以上に接種券を送付したことと、電話予約者が予想以上に多かったのが原因だった。高齢者に対し細かい配慮が足りず、市民の皆様に変な混乱と迷惑をお掛けしたことをお詫びする。

議員 低所得世帯で497人が全額補助。残りの2,677人あまりの児童生徒の減免を考えると1億2,600万円あまり。子ども支援について市長は公約を挙げておられる。

財源はある。財政調整基金が34億ほどある。南島原市の子どもの貧困率は16.4%。

議員 長崎県平均は11.2%。本市は、高い方から3番目。1,010人



島原鉄道線路跡地（南有馬町）



質問の様子を動画で見よう

学校給食費の減免について、具体的に例を挙げて質問したが、現在の進捗状況は

具体的な検討を進めてきた。なるべく早く結論を出したい。

市長



近藤 一宇 議員

学校給食費について

議員 全国では、コロナ感染による死者が1万人を超えている中で、小学6年生と中学生全員に聖火リレーの観覧をさせた。やるめる勇気はなかったのか。

教育長 記憶に残るべきごとに遭遇させ、感動を受けていただきたいと準備してきた。教育効果があると考えた。

議員 インターネット中継もあるし、あとで録画も見られる。日の丸の旗を振らせているが。

教育次長 特別な意図はなく、業者が安く手に入るということで取り入れた。大声を規制するためにも旗を配った。

議員 2022年から国は未就学児の均等割額を2分の1補助する。国保制度は子どもを産むたびに、一人当たり本市では3万6,600円国保税を徴収される。2021年から前倒しで本市独自で実施すると、814万円ほどの予算で実施できる。支援できないか。

市長 国と県の負担分4分の3の費用、また、未就学児のいない世帯の負担になる。公平性の問題が生じる。

議員 全額814万円近くを市の予算から出すことを言っている。財源は財政調整基金でできるのでは。

市民生活部長 一般会計からの繰入れについては考えていない。

議員 2022年から国は未就学児の均等割額を2分の1補助する。国保制度は子どもを産むたびに、一人当たり本市では3万6,600円国保税を徴収される。2021年から前倒しで本市独自で実施すると、814万円ほどの予算で実施できる。支援できないか。

議員 12月議会までに答えを出してほしい。

市長 率を下げなければならぬと考えている。

議員 全国では、コロナ感染による死者が1万人を超えている中で、小学6年生と中学生全員に聖火リレーの観覧をさせた。やるめる勇気はなかったのか。

教育長 記憶に残るべきごとに遭遇させ、感動を受けていただきたいと準備してきた。教育効果があると考えた。

議員 インターネット中継もあるし、あとで録画も見られる。日の丸の旗を振らせているが。

教育次長 特別な意図はなく、業者が安く手に入るということで取り入れた。大声を規制するためにも旗を配った。

議員 2022年から国は未就学児の均等割額を2分の1補助する。国保制度は子どもを産むたびに、一人当たり本市では3万6,600円国保税を徴収される。2021年から前倒しで本市独自で実施すると、814万円ほどの予算で実施できる。支援できないか。

市長 国と県の負担分4分の3の費用、また、未就学児のいない世帯の負担になる。公平性の問題が生じる。

議員 全額814万円近くを市の予算から出すことを言っている。財源は財政調整基金でできるのでは。

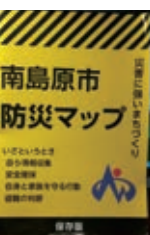
市民生活部長 一般会計からの繰入れについては考えていない。

その他質問

・ 農業政策について

・ 防災について

・ 交通弱者支援について



南島原市防災マップ 活用して安全な生活を守る



質問の様子を動画で見よう

新過疎法に基づく 計画書策定の取組 状況について

令和3年第3回議会
定例会において提出
する予定。



柴田 恭成 議員

財政状況と今後の事業 推進の課題について

議員 税金等、自主財源に乏しい本市においては地方交付税や国・県支出金や地方債などの依存財源が歳入の大半を占めているが、依存財源についての現況と事業推進の課題について伺う。

市長 本市の税収は少なく、財源の多くを地方交付税、国・県補助金、地方債などに頼らざるを得ない状況にあり、普通交付税についても合併算定替えも令和2年度で終了

し減額が見込まれる。国・県支出金についてもコロナ禍が長期化していることから、しっかりと事業内容を構築しないと採択されにくい状況であると考えている。

議員 本年は、例年より早く梅雨入りし、これから豪雨災害など自然災害が危惧され、市民の生命・財産を守るための防災・減災対策の強化が必要で、そのためには災害の予防や拡大防止対策が求められる。財政状況が厳しい本市にとって、令和7年度まで延長された有利な地方債である、緊急自然災害防止対策事業などを活用し防災・減災に向けて積極的に取り組むことが重要だと思つが。

市長 本市の財政状況を踏まえ、令和7年度まで延長された、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、南有馬町北岡地区の排水整備事業など、災害予防対策事業を行っており、今後も緊急自然災害防止対策事業債を計画的に活用し、市民の



緊急自然災害防止対策事業
井龍川（西有家町）

生命・財産を守るための防災・減災対策の強化に努めてまいりたい。



質問の様子を
動画で見よう

コロナワクチン接種 について

議員 私が3月議会で、接種券を一齐に送付すれば予約が殺到するおそれがあるので、年齢別にすることの質問に対し、当時の福祉保健部長は、75歳以上と65歳から74歳までに分けるか、もっと細かく5歳刻みに分けるか順位を決めて発送したとの答弁だったが。

市長 御指摘のとおり対応すべきだったが、このような事態を招き深くおわびいたします。今後は、御指摘のとおり年齢別制限を設けるなど、予約枠と接種券の発送数を調整し、接種予約を進めたい。

その他質問
・空家等対策について

入札制度を見直す べきではないのか

副市長 今、検討している
最中である。



中村 哲康 議員

入札について

議員 建設業入札に対して、当日の開札で即日開札結果が告知できると思つうが、本市はその時間になぜかあるのはなぜか。

総務部長 最低制限価格及び、それぞれのランダム係数については、落札候補者決定時に公表しているの、会場での入札より2日程度遅くなっているのが現状である。

議員 なぜ2日以上もかかるのか。

総務部長 電子入札においては、予定価格のみ公開

表し、設計違算についての疑議申立ての期間を取った後にランダム係数についての発表をしたが、今後はそういう期間は要らないだろうということ、その日に出していきたいと思います。

議員 入札制度を見直すべきではないのか。

副市長 指名入札の上限を700万円から1千万円に上げたとか、そういう対応をしているが、もう少し上げてもいいんじゃないかという意見もあり、今、検討している最中である。

議員 その辺は、倍ぐらに上げてもいいのではないか。

副市長 入札監視委員会の意見を聴きながら対応していく。

後、協議をしていく。

議員 完成後のイベント等の予定は。

建設部長 現在、協議に取りかかっているところである。

農業振興について

議員 地域性を生かした農作物に力を入れる必要があると思つが。

農林水産部長 地域フロンティア推進事業というのを考えており、果樹振興を推進していこうと思つている。

議員 スマート漁業についての取組は。

農林水産部長 研究しながら支援していく。



スマート農業機器で生育を把握



質問の様子を
動画で見よう

コロナワクチンの配分状況は

7月2日の追加配分で、高齢者分の全てが配分される。

市長



金子 憲太郎 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

議員 国からのワクチン配付状況を伺いたい。

市長 現在、7月2日に追加配分される4,095

人分とこれまでの配分を合わせると1万9,695人分となり、市内の高齢者分は全て配分される。

議員 老人施設(特養)の職員は医療従事者や高齢者に合わせて先行接種

するとなっていたが、訪問介護、デイサービス、鍼灸院、整骨院などと老人と直に接する人たちも先

行して接種をするべきではないか。

福祉保健部長

通所系や居室

などには、優先接種の名簿を出していただくよう通知している。また、社会生活を支えるために必要不可欠な仕事に就いておられる方たちなども対象として検討している。

議員 集団接種会場の業務を行う職員も、先行接種をしてよいつの通知が

来ているということだったがどのようにしているのか。

福祉保健部長

現在、高齢者に対する接種を優先させたいという思いで実施している。

このため、接種会場に従事する職員については、健康チェックをした上で受付業務等を行っており、感染予防対策として、マスクを着用した上にフェイスシールド、そして簡易型の防護エプロンを着用して業務している。

議員 他部署からの応援者に対しては、本来の業

務に支障が出ないような体制を取れているのか。

福祉保健部長

集団接種会場の運営に当たっては、1会場29名体制で行っており、そのうち受付事務などの応援として、他部

局から1会場に5人、現在、2会場で実施しているため、計10人の応援職員をお願いしているが、できるだけ通常業務に支障がないようなローテーションを組んでいただくようお願いしている。

議員

今後、豪雨災害や台風などで、避難所の管理と予防接種業務が重複

することが予想されるのでしっかりとした対策を立てておいてほしい。



新型コロナウイルスワクチン接種模擬訓練の様子



質問の様子を動画で見よう

2,078名の深江町民の声に誠実に答えてほしい

今度できる新しい給食センター1か所を供用する。

市長



小林 知誠 議員

学校給食について

議員 新給食センターでも、細菌による食中毒の可能性はあると考えるが。

教育長

新給食センターでも絶対に発生しないと

は言えない。

議員 子供たちを食中毒から守るためには、1センターより複数のセンターが安全だと考えるが。

教育長

1センターの新たな学校給食が安全だと認識している。

議員 75名いる食物アレルギーの児童・生徒のうち、9月から代替食の給

食提供ができる児童・生徒は何名か。

教育次長

12名である。

議員 21億9千万円投資して、新給食センターを建設し、出発時点の9月に完全に代替食にできるのが、僅か16%の達成率に市民が納得すると考えるか。

教育長

初め、鶏卵から始めていき、それを広めていけば確実にアレルギー関係の提供ができる。

議員 深江給食センターに寄せる、2,078名の深江町民の賛同の声を添えた要望書を、6月9日

市長に届けた。要望の一つに、給食センターは近いところ

にあったほうが子供たちのためよい。だから、深江のセンターは残してほしい。この要望は無理な要望か。

市長 私にとって無理か無理でないというよりも、深江の皆さんがそ

う思っている表れである。

議員

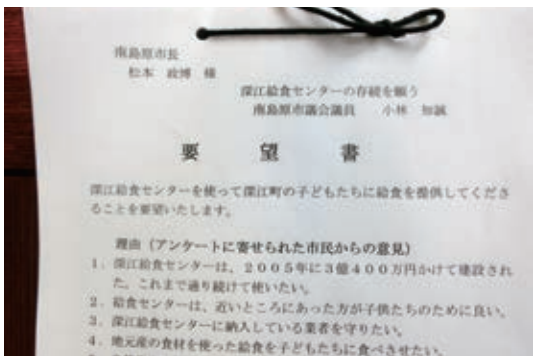
2,078名の深江町民の声に誠実に答えてほしい。

市長 私としては、深江町民の声を受け止めたところである。今度できる新しい給食センター1か所で作って8地区の学校に運んでいく。

議員 少しは、市民が主人公、税金は市民のため

に使うという心があるなら、少し歩み寄って、深江町民の願いをかなえる何かをしてほしいと思っ

たが、今の答弁でそれも駄目だと受け止めた。



願いが込められた要望書 2,078 筆



質問の様子を動画で見よう

新給食センター前のスクールバス停の屋根は何メートルほど必要か

教育次長 4メートルは必要と考えている。



中村 久幸 議員

離島航路について

議員 口ノ津港と天草市の鬼池港を結ぶ島鉄フェリー航路が、今回のコロナ禍の影響で大変厳しい経営状況であるということから、秋野参議院議員が国会で「離島航路に位置づけるべきではないか」と質疑し「船舶以外の交通手段が著しく不便であることから、離島航路に該当する」という国土交通省の答弁があったと思うが、そこで本市や天草市、また島鉄、関係自治体など当事者ではどう取り組んでいこうとさ

れているのか。

市長 本年3月に、島鉄から同社が運航するフェリー2隻のうち、1隻が数年後には耐用年数を迎え更新の必要がある。そのため、将来的に航路維持の困難が予想されるので、国から支援を受けるため要請するとの話を聞いていた。

これから具体的に、離島航路に認定されるための手続等の情報収集に努め、認定後の具体策について天草市、島鉄と協議を開始するところである。今後、県、運輸局などに指導を受けながら、口ノ津・鬼池航路の維持に取り組んでいきたい。



島鉄フェリーあまくさ

自転車歩行者専用道路について

議員 現在の進捗状況を伺いたい。

市長 令和2年度から着手した、旧加津佐駅から原城跡付近までの11kmの測量設計を完了した。

本年度は、国の補正予算で事業費の交付決定も受けたので、第1期地区のうち、7kmの整備工事を発注し、第2期地区の約11kmの測量設計業務も発注し、委託契約まで終了した。さらに第3期地区の水無川まで約10km、の測量設計業務についても発注・入札を近く行う予定である。

新給食センター前スクールバス停について

議員 ここで乗降する児童は何人を想定し、そのバス停の屋根は何メートルほど必要で、いつ頃完成する予定か。

教育次長 児童数は10名で、利用するのに必要な幅は、4メートルが必要と考えている。

2学期から利用するのでその前に完成させる。



木彫マリア像の早期受け入れに協力を

市長 できる範囲で協力する。



隈部 和久 議員

新給食センター関連

議員 9月から供用開始となるが、不測の事態への対応は。

教育長 深江給食センターを9月末まで残し、臨時に使用する際のマニュアルを、8月上旬までに作成する。

木彫マリア像設置関連

議員 民間での設置活動が再開されたとの報道があったが、市としての関与は。

市長 民間の法人設立(南島原世界遺産市民の

会)による像の受け入れ活動については把握している。私としても本市の振興に大きく貢献するものと考えており、市としてできる範囲で協力したい。

議員 記事によると、今回の計画では、南有馬町白木野地区に、鉄骨一部2階建ての建物を建設し移設するというもので、総経費を1億1千万円と見込まれ、それを寄附によって賄うと報じている。

私もこの像の誘致は、本市の観光やPRに大きく寄与するものと確信しており、ぜひとも早期に実現してほしいと願っている。しかし、現計画の通り全て民間任せでは、総事業費の調達、その後の建築、移設に係る期間

があまりにも長びくおそれがある。さらに作者(寄贈者)の年齢(87歳)を考慮しても、できるだけ

だけ早く設置まで完了すべきである。そこで、6年前本市で計画した当時の移設費用分(約2,800万円)を市民の会で募っていただき、その設置場所として、当初計画していた有馬キリシタン遺産記念館の一面を、市が提供するという形をとったら、大幅に期間短縮できるのではないか。

市長 市として、できる範囲での協力ということについて、どこまでできるか検討したい。

議員 世界遺産と合わせ、この木彫マリア像は、祈りのシンボルとして、また本市の振興への多大な効果が期待できる。ぜひとも「市民の会」との前向きな交渉を要望する。



木彫マリア像



来年度は市長と議員の任期満了で改選。日程はいつ決めるのか？

選挙管理委員会
9月に選挙管理委員会を開いて、そこで決定します。なるべく早めに発表する。



高木和恵 議員

給食センターについて

議員 近隣住民には、ロパンボンベではなく、ガスタンクを設置していることの説明は。
教育次長 安全性を確保している。説明の必要性はないと考える。

防災無線の放送内容

資料① [4月29日放送]
こちらは南島原市役所です。こども未来課からお知らせします。4月30日から5月7日まで新型コロナウイルスワクチン接種の相談窓口を各支所に開設します。ワクチン接種について御不明な点などはお尋ねください。なお、その他の手続はできませんので御了承ください。

資料② [4月30日放送]
こちらは南島原市役所です。こども未来課からお知らせします。現在65歳以上の高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種の予約を受け付けております。電話が大変混み合っており、御迷惑をおかけしております。インターネットでの予約もできますので御利用ください。また、本日から5月7日まで各支所に相談窓口を開設し、予約の支援を行っておりますので御利用ください。

資料③ [5月1日放送]
こちらは南島原市役所です。こども未来課からお知らせします。新型コロナウイルスワクチン集団接種の6月までの予約は終了しました。7月以降の集団接種の予約開始日は後日御案内いたします。医療機関での個別接種は5月17日から予約を開始します。なお、引き続き支所で相談窓口は、開設しておりますので御相談ください。



質問の様子を動画で見よう

議員 教育長は、議員に「私は土地交渉をする役目ではない」と言ったか。
教育長 そのような記憶はない。
議員 市長、給食センターは完成。地区住民との約束の道路拡張を急いでほしい。

ワクチン接種予約について

市長 コールセンターの委託料は3,887万5,190円。
議員 資①は、支所で予約ができると思うのか。
※市長は答弁しない、副市長は答弁した。
市長 当然市民の皆さんは、おいでになると思う。資③は5月7日まで

で、支所で仮予約ができることを知らせていない。市長は支所に行くのか。
市長 一般市民の立場に立てば「よう分からんな」というふうなことになるかもしれない。
議員 福祉保健部長は「相談窓口」と表現して大変御迷惑をかけたと謝罪した。交通弱者に寄りそっていない。個別の送迎は受け付けていない(6月10日まで)タクシー券の返還を求める声がある。市長はどのように責任取るのか。
市長 今の問題については検討する。

子供の安全のために防犯カメラを

総務部長
場所も含め検討する。



松永忠次 議員

マリア像の設置について

議員 有志でつくる「南島原世界遺産市民の会」の設置推進総会が開催された。市当局の考えは。
市長 本市の地域振興に大きくPR貢献すると思う。
議員 このマリア像は1981年から40年間かけ、高さ9.5m、彫刻家親松英治先生が島原の乱の犠牲者の供養を目的に造られた作品。本市のシンボルにしては。

地域振興部長 協力できる分については、私達もできる限りの範囲で協力する



質問の様子を動画で見よう

る考えである。
防犯カメラの設置について
議員 南島原市は小学校の統廃合が進んだ中で、中学校の通学路に防犯カメラを設置する考えは。
総務部長 警察と連携を図りながら進めていかなければならないと考える。
議員 学校周辺への設置は、
教育次長 学校施設の敷地外となることから設置は難しい。
議員 教育委員会で難しいなら、防犯だから防災課が担当ではないか。
総務部長 必要であれば今後協議し、場所も含め検討する。

る考えは。
市長 前向きに機械導入、トラックスケールの導入を検討する。
道路行政について
議員 市道平野横線・白崎東線について、概略設計着手から早5年になるが、測量及び地権者の方々に説明はされたが、現在の進捗状況は。
建設部長 令和元年から道路の詳細設計並びに地質調査に着手し、設計において地盤の軟弱や道路構造物の工法、国道との交差点の協議で日数を要し、道路計画図は出来上がり、国道との協議、警察との協議が済み次第、地元説明会を実施する。

農業振興について
議員 農業用の廃プラスチック回収指定袋の料金を値下げする余地はないのか。
農林水産部長 南島原市農業用廃プラスチック等適正処理推進対策協議会を設置、袋代の金額を決定した。
議員 雲仙市はトラックスケールを導入しているが、本市の場合、導入す



市道平野横線・白崎東線 計画図

原城温泉真砂の施設整備は

前向きに取り組んでいきたいと思っている。現在、検討をしているところである。

市長



田中次廣 議員

原城温泉真砂の施設整備計画について

議員 今後の施設の整備について、市長は、同僚議員の質問に対し、検討するとの答弁であったが。

市長 施設整備等に関する考えだが、真砂については、これまで浴槽設備や空調機器など、適時、改修を行ってきたが、開業以来20年以上経過をしている。この間、お客様の利用形態も変化をし、特に宿泊者の利用については、個室の需要が増え

る中、今回の新型コロナウイルスの影響により、その傾向はさらに強くなってきたと認識をしている。

このような動向を踏まえ、アフターコロナにおける新しい旅行形態や社会情勢の変化に対応するための施設整備について、現在、検討をしているところである。

議員 増築する場合の部屋数と増築に要する工事金額、それに充てる財源は。

副市長 15室から20室ぐらいと考えており、建築費は15室の場合、約1億5千万円、20室の場合、約2億3千万円程度と試算している。財源は過疎債の特別分に対応できないかと考えている。

議員 当初の建設のときも、後年度の交付税措置のある過疎債を利用した。

充当率が100%、元利償還金の70%が普通交付税の基準財政需要額に算入される有利な起債(市の負担は3割)である。

るので、増築にあたってはこのような起債を利用させていただきたい。



原城温泉 真砂

コロナワクチン接種について

議員 接種会場までの交通手段として、乗合タクシーを利用された方は32名とのことだが、そういった交通手段が利用できるといった周知等はなされたのか。

福祉保健部長 周知は、接種券を送付するときに、「接種会場までの交通手段がない方は」ということで、チラシの中に記載をしている。

議員 あまり利用されていないようなので、再度、皆さん方に周知していただきたい。



消防団員の処遇改善は

検討するよう指示を出している。

市長



吉田 幸一郎 議員

総務部長 新聞に載っていた3万6,500円と7千円の数字は、交付税の算定が、標準団体人口10万人で、団員数が478名の金額である。消防団は地域の防人として、非常に大切な団員であり本市の1,253名を確保したいと思っている。

議員 消防団とよく協議しながら処遇改善に取り組んでいただきたい。

深江地区の排水路対策

議員 鳥鉄跡地活用の排水路計画はどうなっているか。

建設部長 浸水地域の流水状況等の調査が済み、深江川への流出について県と協議を進め大筋で合意ができたところだ。今後は、排水路の計画書を作成し、今計画している自転車歩行者専用道路整備と並行して、整備を進めていきたい。

議員 深江川に流したときの水量は大丈夫か。

建設部長 もともと深江川水系の水を持つていくという計画であるので、県から問題ないという回答をもらっている。

議員 深江川の浚渫事業はどうなっているか。

建設部長 実施できるよう県へ要望している。

議員 深江B団地の活用は、排水路整備がないと活用ができないと聞くが今回の事業に加え計画するよう提案するがどうか。

市長 B団地の開発というか、そういう利用をしていく方向で、今、検討を進めている。

コロナウイルス関係

議員 ワクチン接種希望者の終了時期は。

福祉保健部長 9月いっぱい終了の予定だ。

議員 イベントについてはどう考えているか。

地域振興部長 現時点では、県の指針により1千人以上のイベントは難しい。しかしながら、ワクチンの接種状況など感染者数が減少すれば、考え方も変わってくる可能性はあると考えている。

議員 そうであれば、2年度の成人式を来年の1月3日、3年度を1月4日に行い、中止した成人式を開催してはどうか。

市長 現在考えていない。

議員 帰省し故郷を思う機会になり、経済対策にもなると考える。対象者との意見交換を提案する。



令和元年度南島原市成人式



総務委員長報告（概要）

承認1件を承認、議案1件を原案可決、請願1件を採択

高木和恵
委員長

【承認第3号】専決処分
の承認を求めることにつ
いて（令和3年度南島原
市一般会計補正予算（第
2号））

〔総務部関係〕

財政調整基金というの
は、財源の調整を行う基
金である。

基本的には、不測の事
態に備えるため、標準財
政規模の大体10%から
20%を積み立てると通達
があつている。

本市は171億円が標
準財政規模であるので、
その約20%、34億円を
財政調整基金として持つ
ている状況である。

質疑 時間外勤務手当83
万7千円は、何時間分な
のか、算定の根拠は。

答弁 83万7千円の時間
は、平均単価2,700
円で計算しているの
で、割り戻すと310時間の
計算になる。

※討論はなく、採決の

結果、総務委員会に分割
付託された関係分につ
いて原案可決。

【議案第36号】令和3年
度南島原市一般会計補正
予算（第3号）

質疑 産休の届が出た場
合は、代替で対応するた
め、補正予算を計上する
ことが分かったが、人事

異動の後、職員が体調を
崩して、4月から現在も
休んでいると聞いている
が、知っているか。

答弁 当然存じている。

質疑 長期のよう
に思うが、代替で
対応しているの
か。

答弁 病気休暇中
ということ、即、
臨時というの
は、ちよつと難しい
と思う。今後の状
況を見ながらなの
で、臨時を入れな
いというわけでは
ない。

質疑 本人の給与はどう
なっているのか

答弁 病気休暇をされて
いるので、給与は、今は
支払われている。

質疑 上司には、報告を
しているのか。

答弁 当然、市長、副市
長、総務部長には報告し
ている。

質疑 本人はどのぐらい
の期間、休みを申告され
ているのか。

答弁 診断書は出てい
るので公表できない。



農林水産・建設委員長報告（概要）

議案1件を原案可決

中村哲康
委員長

【議案第36号】令和3年
度南島原市一般会計補正
予算（第3号）

〔農林水産部関係〕

農業費県補助金640

万円は、土地改良区内の
水利施設の機能保全計画
策定をする県補助金であ
り、内訳としては、有馬
干拓地区350万円、島
原深江地区290万円
で、事業費に対する補助
金は100%である。

〔歳出予算〕

負担金補助及び交付金
640万円は、歳入予算

で説明したとおりであ
る。水産関係施設整備事
業補助金160万円は、
当初3団体分の補助金4

80万円を想定していた
が、4団体分、640万
円の要望があつたことか
ら、不足分の160万円

を計上するものであり、
これは、漁協が実施する
生けす用の熱交換器の取
り換えにかかる補助金
で、補助率は、8割補助
で限度額160万円であ
る。

質疑 有馬干拓の補助金
については、有馬干拓のポ
ンプ管理は、干拓のほう
で行っているが、ほとん
どの干拓地が、市町村で
管理しているというのが
現状である。そうしな
い管理に莫大なお金がか
かって、地権者では、ど
うにもできないと聞いて

いる。今後の対策として、
国や県とも話をして、運
営は市が管理していくべ
きではないのか。

答弁 来年、土地改良区
の合併を控えているの
で、そういうところで検
討していく予定である。

質疑 水利施設ストック
マネジメント事業を行う
補助金がついているが、
これを策定するなどのよ
うなことができるように
なるのか。

答弁 ストックマネジメ
ントというのが、今ある
かんがい排水や、ファーム
ポンドで、そういう計
画を立てないと補助金を
受けられないということ
で、計上しているという
ことである。



有馬干拓



文教厚生委員長報告（概要）

承認2件を承認、議案6件を原案可決

田中 廣
委員 長

【議案第34号】南島原市立学校給食センター条例の一部を改正する条例について

【概要説明】新たに設置する南島原市学校給食センターは9月1日から運用を開始するが、現在の深江給食センターを1か月間（9月30日まで）調理能力の一部が低下した場合に備え残す。

「南島原市立学校給食センター」を「南島原市学校給食センター」に改める。

質疑 議案質疑のときは、「念のため深江給食センターだけを残す」という説明だったが、今は、「調理能力が低くなったときのために」と説明があった。何が起るのか分からないので、今現在使っている（6つの給食センター）を、そのまま1か月間残すというような考えは。

【概要説明】新たに設置する南島原市学校給食センターは9月1日から運用を開始するが、現在の深江給食センターを1か月間（9月30日まで）調理能力の一部が低下した場合に備え残す。

【質疑】 新たに設置する南島原市学校給食センターは9月1日から運用を開始するが、現在の深江給食センターを1か月間（9月30日まで）調理能力の一部が低下した場合に備え残す。

討してきた中で、「民間移譲」という言葉は一切出てきていない。食の安全・安心というのは、特に学校給食については、市が責任を持つてやらなければいけないことで、この施設を民間移譲といった話は、市長からも一切聞いていないし、そのような考えはない。

質疑 食材などの購入は、地産地消ということ、市内業者と県の学校給食会から仕入れるものがあると思うが、納入の率は。

【答弁】 令和元年度の数値で、市内業者が28・4%、約4,500万円。市外業者（県の学校給食会も含む）が71・6%、約1億1,400万円である。

質疑 市内で購入できるものは、できるだけ市内で購入し、市内の業者や、農家の方に、経済的にも効果があるように、学校給食会として考えていたきたい。

【答弁】 市内からの食材の納入分については、これまでも学校給食会に話を

しているが、改めて申入れをしたいと思う。納入業者の9月以降の予定だが、納入をしたいという申出があれば、随時、申請を受け付けて、学校給食会役員会を開いて承認をいただくようにしている。

【反対討論】
1か月ぐらいは今の6センター、7事業所を残しておいて、その様子を見てからすれば非常に安心できる。また名称に「立」をつけないのは、将来民間移譲も考えられるので、「立」は抜くべきじゃないと思ひ、反対する。

賛成討論はなく、起立採決の結果、可決。

【議案第35号】南島原市社会体育施設条例の一部を改正する条例について
【概要説明】 今建設中の多目的運動広場の供用開始（令和4年3月1日）に伴う利用時間、施設の使用料、施設の管理等について

えているのか。また、指定管理するときの詳しい条件等を交わさないといけないと思う。多目的広場の使用料については、ここに掲げてあるが、ほかに減免とか免除とかあると思うが考えは。

【答弁】 指定管理料については、管理経費が年間約1,180万円、収入見込みが約230万円、差し引いた金額、年間1千万円程度を指定管理料として見込んでいる。

指定管理者の公募を行う場合は、条件を明示した上で募集をすることになる。

指定管理の期間は5年を想定している。維持管理費の中でも、修繕は市がするのか指定管理者がするのか、この辺もほかの南島原市の施設で指定管理を行っている分があるので、参考にしながら決めたいと思う。

【質疑】 指定管理者は、公募することだが、指定管理料はどのように考

育協会が主催共催する事業、大会。市内公共団体及び社会福祉団体、社会教育団体が主催する事業や大会。学校行事、クラブ活動などで利用するとき、国体や県体の強化練習、それから市内の幼稚園、保育園または認定こども園が利用する場合は免除となる。

【質疑】 指定管理料は大体1千万ぐらいたと言われたが、算定の根拠は。

【答弁】 管理費については、人件費が約520万円、水道光熱費、天然芝管理費など施設管理費が約590万円、消耗品費など事務費が約70万円で、合計約1,180万円を見込んでいる。



「新学校給食センター建設に ついての特別委員会」報告

久松和郎
部長委員

本特別委員会は、平成26年度から市が建設を計画し、進めていた新学校給食センターについて、様々な検証や関係各位からの聴聞を行い、より良いセンター建設や運営に寄与するために令和元年10月11日に設置以降、令和3年4月8日まで7回にわたり協議した。

（令和元年10月11日）

第1回 委員長、副委員長選任

（令和元年10月29日）

第2回 当委員会での協議、検討項目を議論。

（令和元年11月8日）

第3回 教育委員会、建設部、都市計画課より担当職員の出席を求め、学校給食センター基本・実施設計業務委託、基本・実施設計業務委託指名型プロポーザルについて、

新センターと道路との関係について質疑を行った。中でも事業費について、平成28年12月の全協において11億8,300万円という金額を説明されたが、1年後の平成29年12月に20億超になるということに対する質疑が多数なされた。

プロポーザルの実施要領の中に、想定する工事の金額が11億円と示しており、参加を希望する設計業者としては様々な評価項目と合わせて、その金額も念頭に置いてのプレゼンをするはずである。

その上で、平成29年7月に審査会で決定された業者が基本・実施設計業務委託を受け、担当部署と協議した結果の額が、20億円を超えるということに関する説明が納得できないという質疑が複数の委員から噴出した。

それに対して、プロポーザル方式についての説明やコンベ方式との違い、実施要領中の想定金額については、特段、重きを置くものではないとの答弁を受けたが、それぞれ、件々、かみ合わずという印象であった。

その他、建設予定地周辺の道路整備に関わる質疑や、全ての協議会・作業部会に特定の厨房機器メーカーの関係者が参加していることへの質疑、食材納入に関する質疑が行われ、答弁を受けた。

（令和2年1月16日）

第4回 第2回での検討項目中、給食会及び栄養士部会という、現場関係者の聞き取りを当委員会にて行うという取り決めであり、申し入れたが、難色を示され、応じられないとの答弁を受け、委員会としての今後の進め方について協議した。

様々な意見が出たが、当委員会設置の目的である、より良いセンター運

営に寄与するために、現場の忌憚らない声をより多く集める方法として、学校給食会の全従業員に対し、無記名によるアンケートを実施することを決定した。

（令和2年7月1日）

第5回 配送計画について及び納入業者への説明会について、教育委員会の担当による説明を受け、質疑・応答を行った。

主に国の衛生管理基準である作食完了から生徒が摂食開始までの2時間以内を市内全校に対し堅持できるのかという質疑に対し、令和元年10月28日に当委員会へ提出した資料を修正し、令和2年2月13日に校長会、給食会、栄養士部会に提示した。

その後さらにより良い計画を目指し、これらの関係団体と配送計画に係る合同協議を5月22日と、6月11日に行った。この修正案を基に夏休み

に配送車での実走を経て、10月までに計画案を完成させるとの答弁であった。納入業者については、現在まで令和元年12月、令和2年2月、同6月と種別説明会を行っており、年内を別途に希望調査と、割り当てを示したいとの説明。委員より、地元優先を念頭に置いてもらいたいとの要望があった。

（令和3年3月4日）

第6回 前回に引き続き、配送計画と、納入業者についての説明及び質疑を行った。配送については、昨年8月に、全ルート実走を2回行い、積み降ろし時間も加え、より実際に近い形の見直しを図った。10月に第3回合同協議を行い、12月に市校長会へ計画案を提示し、確認いただき配送計画が決定した。作食から摂食までの時間については、2時間以内が22校、超えるところが5校だが、解消する予定であるという説明。質疑として、

国道への合流部分についての混雑や危険性について数名からなされ、新たな道路の出口に信号機の設置や、2車線確保の要望に対し、建設部と協議するとの答弁であった。（※その後、建設部と警察による協議の結果、2件とも却下された。）

納入業者については、野菜・果物が14業者。味噌・醤油、調味料が4業者。魚肉練り製品が6業者。肉類・加工品が1業者であるとの説明に対し、現在より参加業者が大幅に減少するが、安定供給が担保されているのかとの質疑に、しっかりと確保できているという答弁。

また、現在44業者から25業者に激減し、実害を受ける市内業者が出るということを認識すべしとの意見もあった。

（令和3年4月8日）

第7回 今回は、教育委員会及び建設部から報告事案の説明をしたいと

のことで、開催した。まず、工事の日程について、3月の降雨により防水工事がずれ込み、工期を4月27日から5月27日まで延長するとの説明に、9月の供用開始に影響があるのかとの質疑に対し、ないとの答弁。

次に、供用開始に向けた準備について7月21日から9月1日までの作業の説明を受け、それぞれの項目についての質疑や意見が出た。

最後に3月に北有馬給食センターで発生した、調理員のノロウイルス感染に伴い、給食を1日間中止した件についての報告を受けた。

本事業は、平成29年のプロポーザルによる設計業者選定の後、建設予算が示されてから一般質問等で毎回複数の議員から様々な質問がなされ、関連を含む予算の議決においても、毎回反対者が複数名出るといふ紆余曲折を経てきた。さはさりな

がら既に施設も完成し、9月1日から供用が開始される。

学校給食センターの大きな目である市内児童・生徒への安全で安定した給食の提供を日々遂行するために、給食会及び学校各関係者と協調し、不測の事態については、常に想定し、迅速に対応し得る体制を構築されるよう要望し、当委員会の提言とする。



新学校給食センター（西有家町）

議会適正化検討
特別委員会を新
たに設置

適正な議員定数のあり
方や議会改革等について
調査、検討を行うことを
目的とし、会派選出の9
名の委員で構成する特別
委員会を設置しました。
委員の任期は現議員の
任期、設置期間は目的終
了までとし、閉会中にお
いても、継続して開催す
ることができま

- 〔委員長〕金子 憲太郎
- 〔副委員長〕松永 忠次
- 〔委員〕近藤 一字
- 〔委員〕高木 和恵
- 〔委員〕隈部 和久
- 〔委員〕黒岩 英雄
- 〔委員〕中村 久幸
- 〔委員〕吉岡 巖
- 〔委員〕井上 末喜

全国市議会議長会表彰・感謝状

5月26日開催された、第97回全国市議会議長会定期総会において、吉田幸一郎議員が市議会議員として15年以上務めたことにより、一般表彰を受賞されました。

また、同総会において、林田久富議長に地方行政委員会委員としての功績に対し、感謝状が授与されました。



吉田 幸一郎 議員



林田 久富 議長

人事案件



松本 弘明氏
(西有家町)

令和3年8月11日
令和6年8月10日
教育委員会教育長 (任期3年)



中村 一也氏
(南有馬町)

令和3年6月19日
令和7年6月18日
教育委員会委員 (任期4年)
※令和3年第1回定例会で同意

- ・岩永 豊一氏 (深江町)
- ・廣瀬 博一氏 (深江町)
- ・山崎 伸吾氏 (布津町)
- ・山下 勝也氏 (布津町)
- ・小川 一英氏 (有家町)
- ・中川 繁憲氏 (有家町)
- ・中野 裕二氏 (有家町)
- ・伊崎 美代子氏 (西有家町)
- ・楠田 耕三氏 (西有家町)
- ・本多 利任氏 (西有家町)
- ・寺田 健蔵氏 (北有馬町)
- ・中村 修治氏 (北有馬町)
- ・水田 勇氏 (北有馬町)
- ・植木 健太郎氏 (南有馬町)
- ・馬場 正国氏 (南有馬町)
- ・金子 初夫氏 (口之津町)
- ・平 光正氏 (口之津町)
- ・太田 香代子氏 (加津佐町)
- ・木下 勝徳氏 (加津佐町)

農業委員会委員 (任期3年)

令和3年8月1日
令和6年7月31日

令和3年第2回南島原市議会定例会議決一覧

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果	議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
報告第1号	株式会社みずなし本陣の経営状況に関する書類の提出について	令和3年 6月23日	受 理	同意第11号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
報告第2号	令和2年度南島原市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	令和3年 6月23日	受 理	同意第12号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
報告第3号	令和2年度南島原市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	令和3年 6月23日	受 理	同意第13号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
報告第4号	令和2年度南島原市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	令和3年 6月23日	受 理	同意第14号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
承認第2号	専決処分承認を求めることについて(南島原市税条例等の一部を改正する条例について)	令和3年 7月 5日	承 認	同意第15号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
承認第3号	専決処分承認を求めることについて(令和3年度南島原市一般会計補正予算(第2号))	令和3年 7月 5日	承 認	同意第16号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
議案第31号	南島原市手数料条例の一部を改正する条例について	令和3年 7月 5日	原案可決	同意第17号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
議案第32号	南島原市税条例の一部を改正する条例について	令和3年 7月 5日	原案可決	同意第18号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
議案第33号	南島原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	令和3年 7月 5日	原案可決	同意第19号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
議案第34号	南島原市立学校給食センター条例の一部を改正する条例について	令和3年 7月 5日	原案可決	同意第20号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
議案第35号	南島原市社会体育施設条例の一部を改正する条例について	令和3年 7月 5日	原案可決	同意第21号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
議案第36号	令和3年度南島原市一般会計補正予算(第3号)	令和3年 7月 5日	原案可決	同意第22号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
議案第37号	令和3年度南島原市一般会計補正予算(第4号)	令和3年 7月 5日	原案可決	同意第23号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
同意第5号	教育委員会教育長の任命について	令和3年 7月 5日	同 意	同意第24号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意
同意第6号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意	発議第1号	南島原市議会会議規則の一部を改正する規則について	令和3年 7月 5日	原案可決
同意第7号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意	発議第2号	議会適正化検討特別委員会の設置について	令和3年 7月 5日	原案可決
同意第8号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意	発議第3号	「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出について	令和3年 7月 5日	原案可決
同意第9号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意		閉会中における各委員会の継続調査申出について	令和3年 7月 5日	決 定
同意第10号	農業委員会委員の任命について	令和3年 7月 5日	同 意				

令和3年第2回定例会で意見が分かれた議案の採決

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	16	17	18
議案番号	議決結果	中村 哲康	近藤 一字	田中 次廣	金子憲太郎	小林 知誠	柴田 恭成	高木 和恵	吉田幸一郎	隈部 和久	松永 忠次	小嶋 光明	黒岩 英雄	中村 久幸	川田 典秀	吉岡 巖	井上 末喜
議案第34号	原案可決	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ×:反対 議席番号13番・15番は欠員

賛否討論

採決が分かれた議案のうち、
主な意見を紹介します。

【議案第34号】南島原市立学校給食センター条例の一部を改正する条例について

〔反対①〕反対の第1は、第1条を南島原市学校給食センターに改めることである。条例中の「立」が抜けることが大問題であると考える。「立」があることで、設置者が南島原市であることが明確になる。しかし「立」が省かれることで、設置者が誰であるか分からなくなる。このことから、南島原市学校給食センターが近い将来経営が南島原市から民間委託されることに道を開くことになる。経営が民間に委託されると、学校給食ではなく、営利企業が行う弁当配達になってしまう。そこには学校給食法の縛りがきかなくなり、学校給食が教育の1分野であることが損なわれることになり、子供に寄り添う給食ではなくなる。

起き、調理能力が低くなつたときのために、念のために残すとの説明があつたが、それなら、不具合をしっかりと点検し、この間、これまでの6センターで供用するのが、より安心安全ではないか。

〔反対②〕この給食センター条例で、1条の「立」を抜くというのは、せっかく付いている市立の「立」を、今後もしっかりと市が責任を持ってやっていくという考えであるならば、それを外す必要はないと思う。そして、深江を1か月間だけ置くというところで、何をするかといえば、市内食器の洗浄を何日かに一遍ぐらいで、経費もほとんどかからないわけなので、せっかくの方が一で置くならば、ほかの6つも1か月間だけ置いて、無事1か月が過ぎて何もなければ、処分なり、いろいろされていいと思うので、深江だけではなくて全部を残してやるべきだと思う。

賛成討論なし

反対の2つ目は、深江センター1つだけを、9月の1月間だけ残すことである。機器に不具合が

賛成討論なし

市議会 Q&A

「質問」と「質疑」の違い(その2)
議会だよりNo.58で説明した
「質問と質疑の違いについて」
の追加説明。

「質問」

議会における質問とは一般質問のことを指し、自治体業務全般にわたって市長、教育長など理事者に対し口頭で疑問点を問い質したり、自分の意見を述べることがあります。

「質疑」

一方、質疑とは、議会本会議や委員会において議題となっている案件(議案)に限って提案者である市長、教育長、議案説明者及び常任委員会の報告を行う委員長に対して、分からない点や疑問点について説明を求めることとされています。



したがって、議会に提案されている議案の分からない点や疑問点に対してだけ説明を求めることが許されており、自分の意見や思いを述べたり討論を行うことは認められていません。

編集後記

今回の定例会で新型コロナウイルス感染症対策についての質問が多かったのは、世界中に猛威を振るったコロナウイルス

が開催され、諸外国や県外からの観光客が来島されるのが予想されたからだろう。

も、ワクチン接種により鎮静化すると思われるが、インド由来の変異株(デルタ株)により第5派の感染拡大が心配される中、オリンピックの開幕式・パラリンピックの開会式

コロナウイルスのように感染力が強く重症化率の高い感染症に対するワクチンを接種するということは、単に個人を守るために接種する任意接種という考えではなく、友人や家族を守り、地域社

会を守るための義務接種でもあるということをしつかりと理解しておかなければならない。今後、豪雨災害などによる避難をしなければならぬ事態が起こることを考えると、アレルギーや基礎疾患が無く、体調に問題が無い人も必ずワクチンの接種を受け、コロナウイルスに感染しないよう準備をしておくことが大切である。

議会広報編集特別委員会

委員 金子 憲太郎

次回の定例会は
9月9日(木)
開会の予定です

詳しくは議会事務局へお尋ねください。
電話 **0957-73-6611**

議会広報 編集特別委員会

委員 長	限部 和久
副委員 長	中村 久幸
委員 員	中村 哲康
委員 員	田中 次廣
委員 員	金子憲太郎
委員 員	吉田幸一郎
委員 員	井上 末喜
【発行責任者】	
議 長	林田 久富

※議会だよりに、ご意見、ご感想がありましたら、
議会事務局「議会だより」係 までお願いします。
〒859-2202 南島原市有家町山川58番地 1
☎0957-73-6611
メールアドレス: gikai@city.minamishimabara.lg.jp



この南島原市議会だよりは環境にやさしい「再生紙」と「植物性大豆油インキ」を使用しています。